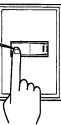
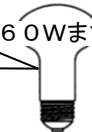


保守とお手入れ

常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

■お手入れの際や、電球の交換の際は必ず電源を切る。 *感電の原因となります。    必ず守る	■器具のお手入れ ●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたきおとす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。 *石けんとは天然油脂を原料としたものです。 (商品表示が“石けん”であることを確認してください。)  必ず守る	■みがき粉やベンジンなどでふいたり、熱湯や殺虫剤をかけない。 *割れ、傷、変色及び落下によるけがの原因となります。  禁止  ベンジンなど揮発性のもの 殺虫剤 みがき粉 熱湯
■点灯時および消灯直後は電球が熱くなっているので、触らない。 *やけどの原因となります。  接触禁止  熱い危険	■必ず指定の電球を使用する。 *指定以外の電球を使用しますと、器具が過熱し火災の原因になります。  必ず守る 日立 反射形投光電球 RF110V60W または RF100V60W 60Wまで 	

仕様

器具	仕様	定格電圧	消費電力	適合ランプ
LBW6639DK LBW6639		交流 100V	60W	60W形反射形投光電球 (口金:E26)

アフターサービス

*万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の形式(器具銘板に表示)、現象を連絡のうえご相談ください。

お客様メモ 後日のために記入しておいてください。 購入店名
サービスを依頼されるときにお役にたちます。 電話 ご購入年月日

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00~19:00(365日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

取扱説明書

保存用

日立白熱灯器具

HITACHI
Inspire the Next

スポットライト

LBW6639DK
LBW6639

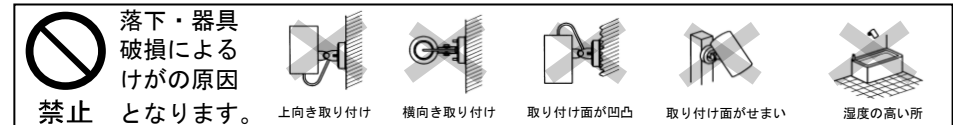
[防雨形]

- このたびは日立白熱灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
 - お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保存してください。

安全上のご注意

警告

- この器具は、壁面取り付け専用です。
- このような場所には、取り付けない。



- 器具の取り付け工事は、電気工事店(有資格者)に依頼する。
*しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。
- アース工事は、電気設備技術基準のD種接地工事に従って作業する。
*アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
- 器具の改造、構成部品(ソケットなど)の交換はしない。
*火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。
*感電・故障の原因となります。
- 器具に布や紙・ポリ袋などをかけない。
*過熱し、火災の原因となります。
- 照射面近接限度20cm以内にドアや家具などの可燃物を近づけない。
*器具の照射面は高温になり火災の原因となります。

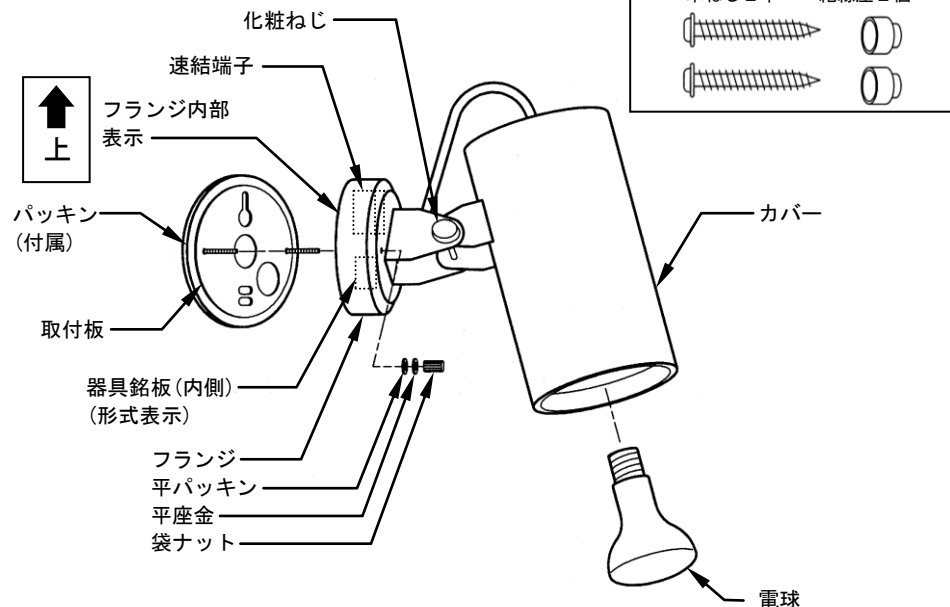
注意

- 定格電圧 交流100V以外で使用しない。
*過熱し、火災の原因となります。
- 必ず指定の電球を使用する。
*器具の異常過熱の原因となります。
- 浴室などの湿気の多い場所や常時温度の高い場所(35℃以上)では、使用しない。
*絶縁性が低下し、火災・感電の原因となります。
- お手入れの際や、電球交換の際は、必ず電源を切る。
*感電の原因となります。
- 点灯時および消灯直後は、電球が熱くなっているので触らない。
*やけどの原因となります。
- 照射面近接限度40cm以内に繊維などの可燃物を近づけない。
*器具の照射面は高温になり変色の原因となります。

各部の名称

図は取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図です。

●下図を参照して、各部品をお確かめください。



ランプの交換及び照射方向の設定のしかた

<ランプの取外しかた>

ランプを左方向へ回して、ソケットから外してください。

<ランプの取付けかた>

ランプを右方向へ回して、ソケットに確実にねじ込んでください。

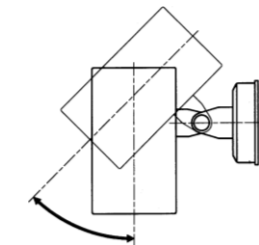
<照射方向の設定のしかた>

化粧ねじをゆるめて、照射したい方向にカバーを調整し、化粧ねじを締付けてください。

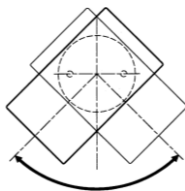


必ず守る

■可動範囲以上に無理に動かさないでください。
器具破損の原因



可動範囲 45°



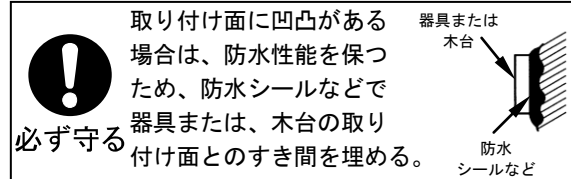
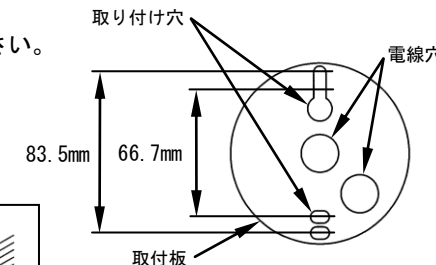
可動範囲 90°

器具の取り付けかた

必ず電源を切ってから作業をしてください。

1. 取付板の取り付け

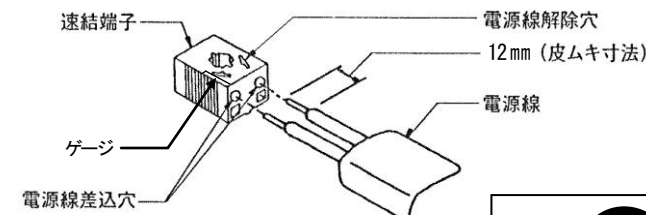
- (1) 付属のパッキンを取付板に貼り付けてください。
- (2) パッキンの電線穴に電線を通してください。
- (3) パッキンと取付板を付属の木ねじ 2本と絶縁座 2個で補強材のある所に取り付けてください。



- (4) 電線をフランジ内部の速結端子に接続してください。

接続のしかた

- 電線をゲージに合わせて段むきし、電源線差込穴にしっかりと差し込んでください。



- 適合電線・・・φ1.6、φ2.0単線
- アース線は、フランジ内部のアースねじに接続してください。

解除のしかた

- ⊖ドライバーを電源線解除穴に強く差し込み、電線をひっぱってください。



アース線を接続せよ

2. フランジの取り付け

- (1) フランジを取付板にかぶせ、平パッキン、平座金、袋ナットの順に取り付けて、確実に固定してください

